



機能性化学品事業 上海でVE・EMの生産ライン増設を完了

昭和電工株式会社（社長：森川 宏平）は、中国での機能性樹脂事業の拡大を図るため、昭和電工グループの中国法人である上海昭和高分子有限公司（以下、SSHP）において、ビニルエステル樹脂（以下、VE）、合成樹脂エマルジョン（以下、EM）の生産ラインの増設を実施し、生産を開始しました。

第5世代移動通信（5G）の進展など情報通信分野の発展による液晶ディスプレイやタッチパネルなどの電子材料市場の拡大に伴い、これらの部材の生産に使用されるVEの中国国内の需要も急速に拡大しています。VEは優れた耐食性、耐薬品性を有することから、大気汚染防止のために導入が進んでいる火力発電所の排煙脱硫装置、電子材料工場の排水処理設備、ごみ処理設備や化学品貯蔵タンク等の腐食防止内面ライニング用としての需要拡大も続いています。また中国では、環境保護強化の一環として2015年からVOC規制が始まり、有機溶剤を使用した塗料や接着剤などの利用が厳しく制限されるようになり、EMを使用した水系塗料や接着剤への切り替えが進み、EMの需要も拡大しています。そのためSSHPでは、VE・EMともに能力を約2倍にそれぞれ生産ラインを増設しました。

当社グループは、「個性派企業（収益性と安定性を高レベルで維持できる個性派事業の連合体）」を実現し、「世界トップレベルの機能性化学メーカー」となることを目標としています。今後も成長する中国市場に社会的価値の高い製品やサービスを提供して事業を拡大し、個性派事業の確立を目指します。

以上

◆ 本件に関するお問い合わせ先 CSR・コミュニケーション室 03-5470-3235



写真：上海昭和高分子有限公司（SSHP）外観